



## 平成30年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

平成29年7月28日

上場会社名 アステラス製薬株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4503 URL <https://www.astellas.com/ja>  
 代表者（役職名） 代表取締役社長CEO （氏名） 畑中 好彦  
 問合せ先責任者（役職名） 広報部長 （氏名） 臼井 政明 (TEL) 03(3244)3201  
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月7日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有 (証券アナリスト・機関投資家・報道機関向け)

(百万円未満四捨五入)

### 1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		四半期純利益		親会社の所有者に帰属する四半期純利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	322,571	△4.5	43,529	△53.1	48,471	△48.0	42,468	△36.2	42,468	△36.2	83,520	—
29年3月期第1四半期	337,752	△1.7	92,866	50.0	93,184	37.7	66,613	49.3	66,613	49.3	△34,006	—

	基本的1株当たり 四半期純利益	希薄化後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	20.57	20.54
29年3月期第1四半期	31.35	31.31

#### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	1,901,237	1,319,652	1,319,652	69.4
29年3月期	1,820,901	1,271,810	1,271,810	69.8

### 2. 配当の状況

	年 間 配 当 金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	17.00	—	17.00	34.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期（予想）	—	18.00	—	18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		当期純利益		親会社の所有者に 帰属する当期純利益		基本的1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	1,279,000	△2.5	254,000	△2.6	260,000	△7.7	198,000	△9.5	198,000	△9.5	95.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

コアベースでの連結業績予想は次のとおりです。

(%表示は対前期増減率)

	売 上 高		コ ア 営 業 利 益		コ ア 当 期 純 利 益		基本的1株当たり コ ア 当 期 純 利 益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	1,279,000	△2.5	254,000	△7.5	195,000	△8.6	94.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は、会社の経常的な収益性を示す指標としてコアベースの業績を開示しています。コアベースの業績の定義につきましては、添付資料P.2に記載しています。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無  
 ② ①以外の会計方針の変更：無  
 ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）  
 ② 期末自己株式数  
 ③ 期中平均株式数（四半期累計）

30年3月期第1四半期	2,068,823,175株	29年3月期	2,153,823,175株
30年3月期第1四半期	4,130,519株	29年3月期	88,817,886株
30年3月期第1四半期	2,064,755,677株	29年3月期第1四半期	2,124,741,835株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の予想及び添付資料に含まれる将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確定な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料P.9をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法)

四半期決算短信の開示とあわせて四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会資料を開示しています。

また、平成29年7月28日（金）に証券アナリスト・機関投資家・報道機関向けにカンファレンス・コールを開催する予定です。このカンファレンス・コールの音声については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	7
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	9
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	10
(1) 要約四半期連結純損益計算書 .....	10
(2) 要約四半期連結包括利益計算書 .....	11
(3) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	12
(4) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	14
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	16
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	17
(継続企業の前提に関する注記) .....	17
(企業結合) .....	17

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

#### <連結業績（コアベース<sup>(注)</sup>）>

当第1四半期（2017年4月1日から6月30日）の連結業績（コアベース）は下表の通りです。売上高、コア営業利益、コア四半期純利益はいずれも減少しました。

#### [連結業績（コアベース）] (単位：百万円)

	前第1四半期 (2017年3月期)	当第1四半期 (2018年3月期)	増減額 (増減率)
売上高	337,752	322,571	△15,182 (△4.5%)
売上原価	71,465	79,272	+7,806 (+10.9%)
販売費及び 一般管理費	111,885	112,335	+449 (+0.4%)
研究開発費	51,022	56,477	+5,455 (+10.7%)
無形資産償却費	8,982	8,971	△12 (△0.1%)
持分法による損益	△446	△392	+53 (-)
コア営業利益	93,951	65,124	△28,827 (△30.7%)
コア四半期純利益	67,148	51,914	△15,233 (△22.7%)
基本的1株当たり コア四半期純利益（円）	31.60	25.14	△6.46 (△20.4%)

(注) 当社は、会社の経常的な収益性を示す指標としてコアベースの業績を開示しています。当該コアベースの業績は、フルベースの業績から当社が定める非経常的な項目を調整項目として除外したものです。調整項目には、減損損失、有形固定資産売却損益、リストラクチャリング費用、災害による損失、訴訟等による多額の賠償又は和解費用などのほか、会社が除外すべきと判断する項目が含まれます。なお、フルベースの実績からコアベースの実績への調整表は、決算補足資料の22ページに記載しています。

### 【売上高】

連結売上高は3,226億円（前年同期比4.5%減）となりました。

- ・ 2016年4月に行われたグローバル皮膚科事業の譲渡及び2017年4月に行われた日本における長期収載品の譲渡等の影響により、減収となりました。
- ・ 前立腺がん治療剤 XTANDI/イクスタンジの売上が拡大しました。過活動膀胱（OAB）治療剤ベタニス/ミラベトリック/ベットミガの売上は拡大しましたが、ベシケアと合わせた OAB 治療剤トータルの売上は減少しました。また、免疫抑制剤プログラフの売上は前年同期と同水準で推移しました。

### 【コア営業利益/コア四半期純利益】

- ・ 売上総利益は2,433億円（同8.6%減）となりました。なお、売上原価率は、グループ間取引における未実現利益消去に伴う為替の影響等により、前年同期に比べ3.4ポイント上昇し、24.6%となりました。
- ・ 販売費及び一般管理費は、前年同期とほぼ同水準の1,123億円（同0.4%増）となりました。
- ・ 研究開発費は、後期開発プロジェクトの進展に伴う費用の増加に加え、ガニメド ファーマシューティカルズ社及びオジェダ社の買収による開発費用の増加等により、565億円（同10.7%増）となりました。対売上高研究開発費比率は、前年同期に比べ2.4ポイント上昇し、17.5%となりました。
- ・ 無形資産償却費は、90億円（同0.1%減）となりました。

以上の結果、コア営業利益は651億円（同30.7%減）、コア四半期純利益は519億円（同22.7%減）となりました。

### 【為替の業績への影響】

当第1四半期の為替レートは、下表の通りです。これらの結果、前第1四半期の為替レートを適用した場合と比べ、売上高においては32億円の増収、コア営業利益においては115億円の減益の影響がありました。

期中平均レート	前第1四半期	当第1四半期	変動
米ドル/円	108	111	3円安
ユーロ/円	122	122	0円安

期首・期末の変動	前第1四半期	当第1四半期
米ドル/円	10円高	0円高
ユーロ/円	13円高	8円安

## <連結業績（フルベース）>

当第1四半期の連結業績（フルベース）は下表の通りです。売上高、営業利益、税引前四半期利益、四半期純利益はいずれも減少しました。

フルベースの業績には、コアベースの業績で除外される「その他の収益」、「その他の費用」（減損損失、為替差損等）、売却可能金融資産の売却益（「金融収益」に計上）等が含まれます。

当第1四半期において、2016年12月に買収したガニメド ファーマシューティカルズ社に係る開発プロジェクトの計画見直しによりその他の収益及び減損損失を計上したことに加え、為替差損を計上したこと等から、「その他の収益」は97億円（前年同期：2億円）、「その他の費用」は313億円（前年同期：13億円）となりました。また、売却可能金融資産の売却益は47億円（前年同期：7億円）でした。

### [連結業績（フルベース）]

（単位：百万円）

	前第1四半期 (2017年3月期)	当第1四半期 (2018年3月期)	増減額 (増減率)
売上高	337,752	322,571	△15,182 (△4.5%)
営業利益	92,866	43,529	△49,337 (△53.1%)
税引前四半期利益	93,184	48,471	△44,714 (△48.0%)
四半期純利益	66,613	42,468	△24,145 (△36.2%)
基本的1株当たり 四半期純利益（円）	31.35	20.57	△10.78 (△34.4%)
四半期包括利益	△34,006	83,520	+117,526 ( - )

【主要製品の売上高】

(主要3領域の売上高)

(単位:億円)

	前第1四半期 (2017年3月期)	当第1四半期 (2018年3月期)	増減率
がん領域フランチャイズ	791	818	+3.4%
XTANDI/イクスタンジ	642	679	+5.8%
泌尿器OABフランチャイズ	540	518	△4.0%
ベシケア	304	246	△19.2%
ベタニス/ミラベトリック /ベットミガ	236	272	+15.6%
移植フランチャイズ	494	494	+0.0%

◇ がん領域フランチャイズ

- ・ XTANDI/イクスタンジの売上高は679億円（前年同期比5.8%増）となりました。米国の売上は減少しましたが、日本、米国を除く米州、EMEA\*及びアジア・オセアニアでは売上が順調に拡大しました。

◇ 泌尿器OABフランチャイズ

- ・ ベタニス/ミラベトリック/ベットミガの売上高は272億円（同15.6%増）となりました。日本、米州、EMEA及びアジア・オセアニアの全ての地域で売上が増加しました。一方、ベシケアの売上高は246億円（同19.2%減）となりました。

◇ 移植フランチャイズ

- ・ プログラフの売上高は494億円（同0.0%増）となりました。EMEA及びアジア・オセアニアで引き続き伸長しました。

◇ その他の新製品・主要品の状況

- ・ 日本市場では、消炎鎮痛剤セレコックス、成人気管支喘息治療剤シムビコート、2型糖尿病治療剤スーグラ、成人関節リウマチ治療剤シムジア等が引き続き成長し、4製品トータルの売上高は277億円（同4.6%増）となりました。また、2016年4月に高コレステロール血症治療剤レパーサ、2017年3月に便秘型過敏性腸症候群治療剤リンゼスを新発売し、市場への着実な浸透を図っています。
- ・ 米州では、アゾール系抗真菌剤クレセンバの売上が拡大しました。

\*EMEA：欧州、中東及びアフリカ

**【地域別売上高の状況】**

地域別の売上高は下表の通りです。日本、米州、EMEA は減少、アジア・オセアニアは増加しました。

このうち日本市場は、2017年4月に行われた長期収載品16製品の譲渡及び当第1四半期に高血圧治療剤ミカルデイスの後発医薬品が発売された影響等により減収となりました。また、EMEA は2016年4月に行われたグローバル皮膚科事業譲渡の影響により減収となりましたが、その影響を除くと増収となりました。

	前第1四半期 (2017年3月期)	当第1四半期 (2018年3月期)	増減率
日本 (億円)	1,242	1,142	△8.1%
うち国内市場売上高	1,148	1,061	△7.5%
米州 (百万ドル)	995	914	△8.1%
EMEA (百万ユーロ)	699	683	△2.4%
アジア・オセアニア (億円)	207	234	+13.2%

※地域別売上高については売上元会社の所在地に基づき集計しています。



## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産、資本及び負債の状況

当第1四半期末(2017年6月30日時点)の連結財政状態計算書の概要及び前期末からの主な変動は以下の通りです。

#### 【資産】

当第1四半期末における総資産は1兆9,012億円(前期末比803億円増)となりました。

＜非流動資産＞当第1四半期末：1兆253億円(同811億円増)

- ・のれんは2,033億円(同279億円増)、その他の無形資産は4,351億円(同477億円増)となりました。当第1四半期においてオジェダ社の買収を完了したことに伴い、のれんとその他の無形資産が増加しました。一方で、ガニメドファーマシューティカルズ社に係るその他の無形資産の減損損失を計上しました。

＜流動資産＞当第1四半期末：8,759億円(同7億円減)

- ・現金及び現金同等物は3,144億円(同265億円減)となりました。

#### 【資本】

資本合計は、1兆3,197億円(同478億円増)となり、親会社所有者帰属持分比率は69.4%となりました。

- ・四半期純利益425億円を計上した一方で、剰余金の配当351億円を実施しました。
- ・在外営業活動体の換算差額が資本の増加方向に400億円変動しました。
- ・なお、2017年5月31日に自己株式の消却1,322億円(8,500万株)を実施しました。

#### 【負債】

負債の合計は、5,816億円(同325億円増)となりました。

＜非流動負債＞当第1四半期末：1,805億円(同313億円増)

- ・当第1四半期におけるオジェダ社の買収完了等に伴い、繰延税金負債が445億円(同192億円増)となりました。

＜流動負債＞当第1四半期末：4,010億円(同12億円増)

## ②キャッシュ・フローの状況

### 【営業活動によるキャッシュ・フロー】

当第1四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは、595億円（前年同期比413億円増）となりました。

- ・ 法人所得税の支払額が56億円となりました。

### 【投資活動によるキャッシュ・フロー】

当第1四半期の投資活動によるキャッシュ・フローは、△560億円（同494億円支出増）となりました。

- ・ オジェダ社買収に伴う子会社株式の取得による支出554億円等がありました。

### 【財務活動によるキャッシュ・フロー】

当第1四半期の財務活動によるキャッシュ・フローは、△362億円（同9億円支出増）となりました。

- ・ 配当金の支払額は351億円（同11億円増）となりました。

以上の結果、当第1四半期末における現金及び現金同等物の残高は、3,144億円（前期末比265億円減）となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、当期の連結業績予想について、コアベース及びフルベースでの業績予想を開示しています。

当期(2018年3月期)の通期連結業績予想は下表の通りです。2017年4月に公表しました業績予想を据え置き修正していません。

#### [通期連結業績予想(コアベース)]

(単位:百万円)

	2017年3月期 通期実績	2018年3月期 通期予想	増減額 (増減率)
売上高	1,311,665	1,279,000	△32,665 (△2.5%)
研究開発費	208,129	218,000	9,871 (+4.7%)
コア営業利益	274,554	254,000	△20,554 (△7.5%)
コア当期純利益	213,343	195,000	△18,343 (△8.6%)
基本的1株当たり コア当期純利益(円)	101.15	94.43	△6.72 (△6.6%)

#### [通期連結業績予想(フルベース)]

(単位:百万円)

	2017年3月期 通期実績	2018年3月期 通期予想	増減額 (増減率)
売上高	1,311,665	1,279,000	△32,665 (△2.5%)
営業利益	260,830	254,000	△6,830 (△2.6%)
税引前利益	281,769	260,000	△21,769 (△7.7%)
当期純利益	218,701	198,000	△20,701 (△9.5%)
基本的1株当たり 当期純利益(円)	103.69	95.88	△7.81 (△7.5%)

当期の想定為替レート: 110円/米ドル、120円/ユーロ

前期の為替レート(実績): 108円/米ドル、119円/ユーロ

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結純損益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)
売上高	337,752	322,571
売上原価	△71,465	△79,272
売上総利益	266,287	243,299
販売費及び一般管理費	△111,885	△112,335
研究開発費	△51,022	△56,477
無形資産償却費	△8,982	△8,971
持分法による損益	△446	△392
その他の収益	230	9,702
その他の費用	△1,315	△31,297
営業利益	92,866	43,529
金融収益	1,218	5,223
金融費用	△899	△281
税引前四半期利益	93,184	48,471
法人所得税	△26,572	△6,003
四半期純利益	66,613	42,468
四半期純利益の帰属		
親会社の所有者	66,613	42,468
1株当たり四半期純利益		
基本的1株当たり四半期純利益(円)	31.35	20.57
希薄化後1株当たり四半期純利益(円)	31.31	20.54

(2) 要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)
四半期純利益	66,613	42,468
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
確定給付制度に係る再測定	△1,496	1,343
小計	△1,496	1,343
純損益にその後に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△95,141	40,039
売却可能金融資産の公正価値の変動	△3,981	△330
小計	△99,122	39,710
税引後その他の包括利益合計	△100,618	41,053
四半期包括利益合計	△34,006	83,520
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	△34,006	83,520

(3) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2017年6月30日)
資産		
非流動資産		
有形固定資産	191,115	193,665
のれん	175,350	203,291
その他の無形資産	387,419	435,142
売上債権及びその他の債権	22,263	23,437
持分法で会計処理されている投資	2,988	2,870
繰延税金資産	90,349	94,858
その他の金融資産	61,597	59,937
その他の非流動資産	13,154	12,116
非流動資産合計	944,235	1,025,316
流動資産		
棚卸資産	182,537	168,272
売上債権及びその他の債権	309,817	337,599
未収法人所得税	10,986	3,475
その他の金融資産	13,554	32,086
その他の流動資産	18,849	20,072
現金及び現金同等物	340,923	314,417
小計	876,665	875,921
売却目的で保有する資産	—	—
流動資産合計	876,665	875,921
資産合計	1,820,901	1,901,237

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2017年6月30日)
<b>資本及び負債</b>		
<b>資本</b>		
資本金	103,001	103,001
資本剰余金	177,091	177,068
自己株式	△138,207	△6,459
利益剰余金	1,013,923	890,384
その他の資本の構成要素	116,002	155,658
親会社の所有者に帰属する持分合計	1,271,810	1,319,652
資本合計	1,271,810	1,319,652
<b>負債</b>		
<b>非流動負債</b>		
仕入債務及びその他の債務	440	3,768
繰延税金負債	25,343	44,519
退職給付に係る負債	36,614	36,855
引当金	4,921	7,063
その他の金融負債	28,389	33,726
その他の非流動負債	53,528	54,605
非流動負債合計	149,235	180,536
<b>流動負債</b>		
仕入債務及びその他の債務	182,826	152,683
未払法人所得税	10,900	16,037
引当金	96,589	114,644
その他の金融負債	2,992	3,950
その他の流動負債	106,548	113,736
流動負債合計	399,856	401,050
負債合計	549,091	581,585
資本及び負債合計	1,820,901	1,901,237

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素	
					新株予約権	在外営業活動体の換算差額
2016年4月1日残高	103,001	176,903	△157,111	973,054	2,126	132,134
四半期包括利益						
四半期純利益	—	—	—	66,613	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	—	△95,141
四半期包括利益合計	—	—	—	66,613	—	△95,141
資本で直接認識された所有者との取引						
自己株式の取得	—	—	△765	—	—	—
自己株式の処分	—	△78	253	△103	△71	—
自己株式の消却	—	—	110,219	△110,219	—	—
配当金	—	—	—	△34,000	—	—
株式報酬取引	—	88	—	—	—	—
振替	—	—	—	△1,496	—	—
資本で直接認識された所有者との取引合計	—	10	109,706	△145,817	△71	—
2016年6月30日残高	103,001	176,913	△47,405	893,849	2,055	36,993

2017年4月1日残高	103,001	177,091	△138,207	1,013,923	1,784	99,590
四半期包括利益						
四半期純利益	—	—	—	42,468	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	—	40,039
四半期包括利益合計	—	—	—	42,468	—	40,039
資本で直接認識された所有者との取引						
自己株式の取得	—	—	△708	—	—	—
自己株式の処分	—	△159	307	△95	△54	—
自己株式の消却	—	—	132,150	△132,150	—	—
配当金	—	—	—	△35,105	—	—
株式報酬取引	—	135	—	—	—	—
振替	—	—	—	1,343	—	—
資本で直接認識された所有者との取引合計	—	△24	131,749	△166,007	△54	—
2017年6月30日残高	103,001	177,068	△6,459	890,384	1,730	139,629



(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				資本合計
	その他の資本の構成要素			合計	
	売却可能金融 資産の公正価 値の変動	確定給付制度 に係る再測定	合計		
2016年4月1日残高	29,103	—	163,363	1,259,209	1,259,209
四半期包括利益					
四半期純利益	—	—	—	66,613	66,613
その他の包括利益	△3,981	△1,496	△100,618	△100,618	△100,618
四半期包括利益合計	△3,981	△1,496	△100,618	△34,006	△34,006
資本で直接認識された所有者 との取引					
自己株式の取得	—	—	—	△765	△765
自己株式の処分	—	—	△71	0	0
自己株式の消却	—	—	—	—	—
配当金	—	—	—	△34,000	△34,000
株式報酬取引	—	—	—	88	88
振替	—	1,496	1,496	—	—
資本で直接認識された所有者 との取引合計	—	1,496	1,425	△34,677	△34,677
2016年6月30日残高	25,122	—	64,169	1,190,527	1,190,527

2017年4月1日残高	14,629	—	116,002	1,271,810	1,271,810
四半期包括利益					
四半期純利益	—	—	—	42,468	42,468
その他の包括利益	△330	1,343	41,053	41,053	41,053
四半期包括利益合計	△330	1,343	41,053	83,520	83,520
資本で直接認識された所有者 との取引					
自己株式の取得	—	—	—	△708	△708
自己株式の処分	—	—	△54	0	0
自己株式の消却	—	—	—	—	—
配当金	—	—	—	△35,105	△35,105
株式報酬取引	—	—	—	135	135
振替	—	△1,343	△1,343	—	—
資本で直接認識された所有者 との取引合計	—	△1,343	△1,396	△35,678	△35,678
2017年6月30日残高	14,299	—	155,658	1,319,652	1,319,652

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	93,184	48,471
減価償却費及び無形資産償却費	15,970	15,996
減損損失及びその戻入益	—	25,953
金融収益及び金融費用	△318	△4,941
棚卸資産の増減額	△10,947	18,807
売上債権及びその他の債権の増減額	△36,638	△19,763
仕入債務及びその他の債務の増減額	△5,253	△43,499
その他の調整	△14,678	24,044
営業活動から生じたキャッシュ・フロー	41,320	65,068
法人所得税の支払額	△23,170	△5,576
営業活動によるキャッシュ・フロー	18,150	59,492
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△7,420	△2,388
有形固定資産の売却による収入	485	149
無形資産の取得による支出	△1,012	△3,650
売却可能金融資産の取得による支出	△189	△129
売却可能金融資産の売却による収入	993	6,954
子会社株式の取得による支出	—	△55,367
利息及び配当金の受取額	572	477
その他	△11	△2,073
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,583	△56,026
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△765	△708
親会社の所有者への配当金の支払額	△34,000	△35,105
その他	△472	△340
財務活動によるキャッシュ・フロー	△35,237	△36,154
為替レート変動による影響	△24,375	6,182
現金及び現金同等物の純増減額	△48,044	△26,506
現金及び現金同等物の期首残高	360,030	340,923
現金及び現金同等物の四半期末残高	311,985	314,417

- (6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項  
(継続企業の前提に関する注記)  
該当事項はありません。

(企業結合)

当第1四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)

オジェダ SAの取得

(1) 企業結合の概要

① 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称: オジェダ SA

事業の内容: Gタンパク質共役受容体(GPCR)を標的とする低分子薬の開発

② 取得日

2017年5月16日

③ 取得した議決権付資本持分の割合

100%

④ 被取得企業の支配の獲得方法

契約一時金及びマイルストーンを支払対価とする株式取得

⑤ 企業結合を行った主な理由

オジェダ SAは、1994年に設立された医薬品企業であり、低分子のGPCR創薬の研究開発に注力しています。同社は、臨床開発段階にあるfezolinetantのほか、前臨床段階に、炎症、自己免疫疾患を含む複数の疾患を対象とした低分子化合物を複数有しています。本買収により、臨床開発段階のパイプラインを拡充し、中長期の成長をより盤石なものとしていきます。

(2) 取得日現在における取得資産、引受負債及び支払対価の公正価値

	金額(単位:百万円)
有形固定資産	560
その他の無形資産	74,415
現金及び現金同等物	519
その他の資産	513
繰延税金負債	△25,256
その他の負債	△1,747
取得資産及び引受負債の公正価値(純額)	49,004
のれん	26,058
合計	75,062
現金	62,134
条件付対価	12,928
支払対価の公正価値の合計	75,062

上記のうち、一部の金額については取得対価の配分が完了していないため、現時点で入手可能な合理的情報に基づき算定された暫定的な公正価値となっています。

また、のれんの主な内容は、個別に認識要件を満たさない、取得から生じることが期待される既存事業とのシナジー効果及び超過収益力です。

(3) 条件付対価

条件付対価は、オジェダ SAが保有している臨床開発プログラムfezolinetantの開発の進捗に応じて支払うマイルストーンであり、最大で300百万ユーロ(38,391百万円)を支払う可能性があります。条件付対価の公正価値は、当該プログラムが成功する可能性や貨幣の時間価値を考慮して計算しています。

(4) キャッシュ・フロー情報

	金額 (単位: 百万円)
支払対価の公正価値の合計	75,062
支払対価に含まれる条件付対価の公正価値	△12,928
未払の契約一時金	△6,248
被取得企業が保有する現金及び現金同等物	△519
子会社株式の取得による支出	55,367

(5) 取得関連費用

金額: 59百万円

取得関連費用が認識されている要約四半期連結純損益計算書の表示科目: 販売費及び一般管理費

(6) 要約四半期連結純損益計算書に与える影響

- ① 当第1四半期連結累計期間の要約四半期連結純損益計算書で認識されている取得日以降の被取得企業の税引前四半期利益  
金額的重要性が低いため、記載を省略しています。
- ② 企業結合が期首に実施されたと仮定した場合の当第1四半期連結累計期間の要約四半期連結純損益計算書の税引前四半期利益に与える影響額 (非監査情報)  
金額的重要性が低いため、記載を省略しています。

# 2018年3月期第1四半期 決算補足資料

---

## 【業績情報 (IFRS)】

### 第1四半期連結

1. 連結損益の詳細(フルベース)
2. 連結損益の詳細(コアベース)
3. 為替レートの状況
4. フルベースからコアベースへの調整表
5. 地域別売上高
6. 償却費の状況
7. 主要製品の売上高
8. 連結財政状態計算書

## 【開発品情報】

### 新薬開発状況

#### (注意事項)

この資料に記載されている現在の計画、予想、戦略、想定に関する記述およびその他の過去の事実ではない記述は、アステラスの業績等に関する将来の見通しです。これらの記述は経営陣の現在入手可能な情報に基づく見積りや想定によるものであり、既知および未知のリスクと不確実な要素を含んでいます。さまざまな要因によって、これら将来の見通しは実際の結果と大きく異なる可能性があります。その要因としては、

(i) 医薬品市場における事業環境の変化および関係法規制の改正、(ii) 為替レートの変動、(iii) 新製品発売の遅延、(iv) 新製品および既存品の販売活動において期待した成果を得られない可能性、(v) 競争力のある新薬を継続的に生み出すことができない可能性、(vi) 第三者による知的財産の侵害などがありますが、これらに限定されるものではありません。また、この資料に含まれている医薬品(開発中のものを含む)に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

1. 連結損益の詳細(フルベース)

(単位:億円)

	17/3期 1Q	18/3期 1Q	増減	増減率	18/3期 通期予想	増減率
売上高	3,378	3,226	-152	-4.5%	12,790	-2.5%
売上原価	715	793	78	10.9%		
(売上高比率)	21.2%	24.6%				
売上総利益	2,663	2,433	-230	-8.6%		
販売費・一般管理費	1,119	1,123	4	0.4%		
(売上高比率)	33.1%	34.8%				
内、広告費・販売促進費	358	346	-13	-3.5%		
内、人件費	435	436	1	0.3%		
内、その他	326	341	16	4.8%		
研究開発費	510	565	55	10.7%	2,180	4.7%
(売上高比率)	15.1%	17.5%			17.0%	
無形資産償却費	90	90	-0	-0.1%		
持分法による損益	-4	-4	1	-		
その他の収益	2	97	95	-		
内、条件付対価に係る公正価値の変動	-	92	92	-		
その他の費用	13	313	300	-		
内、減損損失	-	260	260	-		
内、為替差損	4	51	47	-		
営業利益	929	435	-493	-53.1%	2,540	-2.6%
(売上高比率)	27.5%	13.5%			19.9%	
金融収益	12	52	40	328.9%		
内、売却可能金融資産売却益	7	47	41	628.1%		
金融費用	9	3	-6	-68.8%		
内、売却可能金融資産減損損失	3	0	-3	-99.5%		
税引前四半期利益	932	485	-447	-48.0%	2,600	-7.7%
(売上高比率)	27.6%	15.0%			20.3%	
法人所得税	266	60	-206	-77.4%		
四半期純利益	666	425	-241	-36.2%	1,980	-9.5%
(売上高比率)	19.7%	13.2%			15.5%	
四半期包括利益	-340	835	1,175	-		

2. 連結損益の詳細(コアベース)

(単位:億円)

	17/3期 1Q	18/3期 1Q	増減	増減率
売上高	3,378	3,226	-152	-4.5%
売上原価	715	793	78	10.9%
(売上高比率)	21.2%	24.6%		
売上総利益	2,663	2,433	-230	-8.6%
販売費・一般管理費	1,119	1,123	4	0.4%
(売上高比率)	33.1%	34.8%		
内、広告費・販売促進費	358	346	-13	-3.5%
内、人件費	435	436	1	0.3%
内、その他	326	341	16	4.8%
研究開発費	510	565	55	10.7%
(売上高比率)	15.1%	17.5%		
無形資産償却費	90	90	0	-0.1%
持分法による損益	-4	-4	1	-
営業利益	940	651	-288	-30.7%
(売上高比率)	27.8%	20.2%		
金融収益	6	5	-1	-15.2%
金融費用	6	2	-4	-59.0%
税引前四半期利益	939	654	-286	-30.4%
(売上高比率)	27.8%	20.3%		
法人所得税	268	134	-133	-49.8%
四半期純利益	671	519	-152	-22.7%
(売上高比率)	19.9%	16.1%		

18/3期  
通期予想

12,790

2,180

17.0%

2,540

19.9%

1,950

15.2%

増減率

-2.5%

4.7%

-7.5%

-8.6%

3. 為替レートの状況

	17/3期 1Q	18/3期 1Q	17/3 期末	17/6 期末
USD/円	108	111	112	112
EUR/円	122	122	120	128

\*為替レートの変動により、当第 四半期において売上高で32億円の増収、コア営業利益で115億円の減益の影響

4. フルベースからコアベースへの調整表

(単位:億円)

	17/3期 1Q		18/3期 1Q	
	フルベース	調整	コアベース	調整
売上高	3,378	-	3,378	-
売上原価	715	-	715	-
売上総利益	2,663	-	2,663	-
販売費及び一般管理費	1,119	-	1,119	-
研究開発費	510	-	510	-
無形資産償却費	90	-	90	-
持分法による損益	-4	-	-4	-
その他の収益 *1	2	-2	-	-97
その他の費用 *1	13	-13	-	-313
営業利益	929	11	940	216
金融収益 *2	12	-7	6	-47
金融費用 *2	9	-3	6	-0
税引前利益	932	7	939	169
法人所得税	266	2	268	74
四半期純利益	666	5	671	94

\*1: コアベースの実績では「その他の収益」及び「その他の費用」は除外されています。

「その他の収益」及び「その他の費用」には、有形固定資産の除売却に伴う損益、減損損失、リストラクチャリング費用、訴訟関係費用のほか、為替差損益などが含まれています。

\*2: 「金融収益」と「金融費用」の内、売却可能金融資産の売却に伴う損益や減損損失は、調整項目としてコアベースの実績では除外されています。



5. 地域別売上高

	(単位: 億円)			
	17/3期 1Q	18/3期 1Q	増減	増減率
外部売上高	3,378	3,226	-152	-4.5%
日本 (構成比)	1,242 36.8%	1,142 35.4%	-100	-8.1%
米州 (構成比)	1,076 31.8%	1,016 31.5%	-60	-5.6%
EMEA (構成比)	853 25.3%	834 25.9%	-19	-2.3%
アジア・オセアニア (構成比)	207 6.1%	234 7.3%	27	13.2%

注1: 売上元会社の所在地に基づき集計

注2: EMEA 欧州・中東・アフリカ

6. 償却費の状況

	(単位: 億円)			
	17/3期 1Q	18/3期 1Q	増減	増減率
減価償却費(有形固定資産)				
連結	55	54	-2	-3.0%
償却費(無形資産)*				
連結	104	106	2	1.8%

\* 償却費(無形資産)には、ソフトウェア等の償却費が含まれる

7. 主要製品の売上高

1) グローバル製品

	(単位: 億円)				増減率
	17/3期 1Q	18/3期 1Q	増減	増減率	
XTANDI/イクスタンジ	642	679	37	5.8%	
米国	357	334	-23	-6.5%	18/3期 通期予想 2,777
米国以外	285	345	60	21.1%	1,333
内、日本	61	65	4	7.0%	1,444
内、米州(米国以外)	18	25	7	40.0%	258
内、EMEA	200	244	44	22.1%	101
内、アジア・オセアニア	7	12	4	62.9%	1,015
エリガード	44	44	-0	-0.6%	70
EMEA	44	43	-0	-1.1%	176
アジア・オセアニア	1	1	0	39.7%	172
ベシケア	304	246	-58	-19.2%	4
日本	70	64	-6	-8.0%	1,146
米州	136	93	-43	-31.4%	245
EMEA	87	75	-12	-13.8%	525
アジア・オセアニア	12	13	1	9.7%	314
ベタニス/ミラベトリック/バットミガ	236	272	37	15.6%	58
日本	64	72	8	12.3%	1,228
米州	129	150	21	15.9%	319
EMEA	35	39	4	12.1%	680
アジア・オセアニア	7	11	4	60.3%	177
ハルナール/オムニック	121	121	-0	-0.3%	52
自社販売計	115	118	3	2.3%	471
日本	26	21	-5	-18.6%	452
EMEA	37	38	2	5.1%	69
アジア・オセアニア	52	57	5	9.6%	149
バルク・ロイヤリティ等	6	3	-3	-49.2%	234
プログラフ	494	494	0	0.0%	18
自社販売計	487	481	-6	-1.2%	1,867
日本(グラセプター含む)	129	127	-2	-1.5%	1,848
米州	77	62	-14	-18.8%	485
EMEA	190	196	6	3.1%	281
内、アドバグラフ	79	86	7	9.3%	687
アジア・オセアニア	90	95	5	5.0%	396
輸出外部売上	8	14	6	81.1%	19
ファンガード/マイカミン	100	103	2	2.1%	361
日本	27	27	-0	-0.5%	113
米州	31	30	-1	-3.0%	96
EMEA	28	29	2	5.5%	84
アジア・オセアニア	15	16	2	11.5%	68

注1: 個別製品の売上高のうち、日本の売上高の開示は仕切価ベース

注2: EMEA 欧州・中東・アジア

2) 日本の主要製品

(単位:億円)

17/3期 1Q	18/3期 1Q	増減	増減率
<グローバル品(再掲)>			
イクスタンジ	61	65	7.0%
ベシケア	70	64	-8.0%
ベタニス	64	72	12.3%
ハルナール	26	21	-18.6%
プログラフィ(グラセプター含む)	129	127	-1.5%
ファンガード	27	-0	-0.5%
<日本のローカル品>			
ミカルデイス [ファミリー]	247	-15	-6.2%
内、ミコンビ	25	24	-7.5%
内、ミカムロ	68	-1	-2.2%
セレコックス	124	124	0.3%
シムビコート	98	102	4.1%
ボノテオ	36	35	-4.6%
ジェニナック	25	23	-4.8%
ワクチン	38	34	-11.1%
アーガメイト	15	15	-2.4%
ゴナックス	11	12	6.5%
シムジア	19	22	14.1%
スーグラ	23	29	22.3%
リビートル	64	54	-15.5%
マイスリー	39	35	-11.4%
セロクエル	22	18	-19.9%
日本市場の合計	1,148	1,061	-7.5%

注:売上高の開示は仕切価ベース

18/3期 通期予想	増減率
258	10.1%
245	-4.4%
319	23.2%
69	-24.8%
485	-0.7%
113	0.3%

522	-44.1%
483	1.7%
413	5.2%
133	-3.9%
102	0.9%
289	-16.2%
59	1.7%
48	7.4%
93	20.5%
128	34.6%
180	-22.1%
130	-11.3%
55	-26.8%
3,910	-13.6%

3) 海外の主要製品

(単位:億円)

17/3期 1Q	18/3期 1Q	増減	増減率
<海外の主要製品>			
タルセバ	94	83	-11.6%
米国	68	62	-9.1%
米国以外	26	22	-18.0%
米州	193	187	-3.0%
米州	24	29	18.5%
米州	13	21	64.0%

18/3期 通期予想	増減率
723	1.1%
105	0.2%
85	46.1%

4) 米州・EMEAの売上高の状況<現地通貨>

米州

(単位: M\$)

	17/3期 1Q	18/3期 1Q	増減	増減率
売上高	995	914	-80	-8.1%
XTANDI	347	323	-24	-6.8%
米州	330	301	-30	-8.9%
米州(米国以外)	16	22	6	36.3%
タルセバ	87	75	-12	-13.9%
米国	63	55	-7	-11.5%
米国以外	24	20	-5	-20.2%
ベシケア	126	84	-42	-33.2%
ミラベトリック	119	135	15	12.8%
プログラーフ	71	56	-15	-20.9%
スキヤン	178	168	-10	-5.6%
マイカミン	29	27	-2	-5.6%
アンピソーム	23	26	3	15.3%
クレセンバ	12	19	7	59.7%

	18/3期 通期予想	増減率
	3,915	2.9%
	1,304	1.4%
	1,212	-0.2%
	92	28.7%
	478	-2.5%
	618	21.2%
	256	1.5%
	657	-0.4%
	88	-22.3%
	96	-1.3%
	77	44.0%

EMEA

(単位: M€)

	17/3期 1Q	18/3期 1Q	増減	増減率
売上高	699	683	-17	-2.4%
XTANDI	164	200	36	22.0%
エリガード	36	35	-1	-1.2%
ベシケア	71	61	-10	-13.9%
ベットミガ	29	32	3	11.9%
オムニック	35	34	-1	-2.7%
自販	30	31	1	4.9%
バルクロイヤリテイ	5	2	-2	-49.3%
プログラーフ	162	172	10	5.9%
自販 計	156	161	5	2.9%
内、アドバグラフ	65	71	6	9.2%
輸出外部売上	6	11	5	81.2%
マイカミン	23	24	1	5.4%

	18/3期 通期予想	増減率
	2,661	-4.4%
	846	17.8%
	143	8.5%
	261	-3.1%
	147	23.8%
	140	1.4%
	124	4.9%
	15	-20.5%
	588	-4.0%
	572	-3.0%
	16	-29.8%
	70	-23.4%

注: EMEA 欧州・中東・アフリカ

8. 連結財政状態計算書

(単位:億円)

	2017年3月31日		2017年6月30日		増減
	金額	金額	金額	金額	
<b>資産合計</b>	<b>18,209</b>	<b>19,012</b>	<b>803</b>		
<b>非流動資産合計</b>	<b>9,442</b>	<b>10,253</b>	<b>811</b>		
有形固定資産	1,911	1,937	26		
のれん	1,753	2,033	279		
その他の無形資産	3,874	4,351	477		
売上債権及びその他の債権	223	234	12		
持分法で会計処理されている投資	30	29	-1		
繰延税金資産	903	949	45		
その他の金融資産	616	599	-17		
その他の非流動資産	132	121	-10		
<b>流動資産合計</b>	<b>8,767</b>	<b>8,759</b>	<b>-7</b>		
棚卸資産	1,825	1,683	-143		
売上債権及びその他の債権	3,098	3,376	278		
未収法人所得税	110	35	-75		
その他の金融資産	136	321	185		
その他の流動資産	188	201	12		
現金及び現金同等物	3,409	3,144	-265		

(単位:億円)

	2017年3月31日		2017年6月30日		増減
	金額		金額		
<b>資本及び負債合計</b>	<b>18,209</b>		<b>19,012</b>		<b>803</b>
資本合計	12,718		13,197		478
親会社の所有者に帰属する持分合計	12,718		13,197		478
資本金	1,030		1,030		-
資本剰余金	1,771		1,771		-0
自己株式	-1,382		-65		1,317
利益剰余金	10,139		8,904		-1,235
その他の資本の構成要素	1,160		1,557		397
<b>負債合計</b>	<b>5,491</b>		<b>5,816</b>		<b>325</b>
<b>非流動負債合計</b>	<b>1,492</b>		<b>1,805</b>		<b>313</b>
仕入債務及びその他の債務	4		38		33
繰延税金負債	253		445		192
退職給付に係る負債	366		369		2
引当金	49		71		21
その他の金融負債	284		337		53
その他の非流動負債	535		546		11
<b>流動負債合計</b>	<b>3,999</b>		<b>4,010</b>		<b>12</b>
仕入債務及びその他の債務	1,828		1,527		-301
未払法人所得税	109		160		51
引当金	966		1,146		181
その他の金融負債	30		39		10
その他の流動負債	1,065		1,137		72

新薬開発状況

(2017年7月現在)

前回の決算発表時(2017年4月27日)からの変更箇所に下線

がん領域 (1/2)

\* 共同研究により創出された化合物を含む。

開発コード 一般名	薬効／作用機序	対象疾患	開発段階／地域	剤形	自社*／導入	備考	
MDV3100 エンザルタミド	アンドロゲン受容体阻害剤	転移性去勢抵抗性前立腺がん(錠剤)	申請(2016年3月)／欧州	錠口	Pfizer	剤形追加	
		去勢抵抗性前立腺がん(錠剤)	申請(2016年9月)／日本			剤形追加	
		非転移性去勢抵抗性前立腺がん	P-III／米国、欧州、アジア				効能追加
		非転移性生化学的再発前立腺がん	P-III／米国、欧州、アジア				効能追加
		転移性ホルモン感受性前立腺がん	P-III／米国、欧州、日本、アジア				効能追加
		肝細胞がん	P-II／米国、欧州、アジア				効能追加
		急性骨髄性白血病	P-III／米国、欧州、日本、アジア				
ASP2215 ギルテリチニブ	FLT3/AXL阻害剤	前立腺がん(3か月製剤)	P-III／日本	注射	Ferring	剤形追加	
ASP3550 デガレリクス	GnRH受容体アンタゴニスト	腎細胞がん	P-II／米国、欧州	注射	自社 (ADC技術をSeattle Genetics から導入)		
AGS-16C3F	ENPP3を標的とするADC	胃食道接合部腺がん	P-II／欧州	注射	自社 (Ganymed)		
IIMAB362	抗Claudin 18.2モノクローナル抗体	尿管上皮がん	P-II／米国、 P-I／日本	注射	自社 [Seattle Geneticsと 共同開発]		
AMG 103 ブリナツモマブ	抗CD19 BiTE抗体	急性リンパ性白血病	P-II／日本	注射	Amgen [アステラス・アム ジェンと共同開発]		
ASG-15ME		尿管上皮がん	P-I	注射	自社 [Seattle Geneticsと 共同開発]		

がん領域 (2/2)

\*共同研究により創出された化合物を含む。

開発コード 一般名	薬効／作用機序	対象疾患	開発段階／地域	剤形	自社*／導入	備考
ASP4132		がん	P-I	経口	自社	
AGS67E		悪性リンパ腫	P-I	注射	自社 (ADC技術をSeattle Genetics から導入)	
AGS62P1		急性骨髄性白血病	P-I	注射	自社 (EuCODEを用いた ADC技術を Ambrxから導入)	

前回の決算発表時(2017年4月)からの変更点:

MDV3100 (エンザルタミド): 競合環境の変化、診断薬を追加的に開発する必要性、新たなPhase II 試験データ等に基づきファイザー社と協議し、総合的な判断により、乳がん (Phase II : ER/PR陽性、HER2陽性、Phase III : トリプルネガティブ) を対象疾患とした開発を中止した。

ASP8273 (ナコチニブ): 独立データモニタリング委員会の勧告を受け、患者さんのベネフィット・リスクを総合的に評価し、Phase III 段階にあった非小細胞肺がんを対象疾患とした開発を中止した。

ASP5878: Phase I 段階にあった、がんを対象疾患とした開発を中止した。



泌尿器及び腎疾患領域

\* 共同研究により創出された化合物を含む。

開発コード 一般名	薬効／作用機序	対象疾患	開発段階／地域	剤形	自社*／導入	備考
YM905 ソリフェナシン	ムスカリンM <sub>3</sub> 受容体拮抗剤	小児の神経因性膀胱	申請(2017年2月)／米国 申請(2017年4月)／欧州	経口	自社	効能追加 (小児)
EB178 ソリフェナシン/ ミラベグロン	ソリフェナシンとミラベグロンの併用療法	尿意切迫感及び頻尿の症状を伴う過活動膀胱	申請(2017年6月)／米国	経口	自社	
ASP1517 (FG-4592) ロキサデュスタット	HIF安定化剤	慢性腎臓病(保存期及び透析期)に伴う貧血	P-III／欧州 P-III／日本	経口	FibroGen	
YM178 ミラベグロン	β3受容体作動薬	小児の神経因性膀胱	P-III／欧州	経口	自社	効能追加 (小児)
YM311 (FG-2216)	HIF安定化剤	腎性貧血	P-II／欧州 P-I／日本	経口	FibroGen	
ASP8232	VAP-1阻害剤	糖尿病性腎症	P-II／欧州	経口	自社	
ASP6294	神経成長因子中和抗体	膀胱痛症候群／間質性膀胱炎	P-II／欧州	注射	自社	
ASP6282		低活動膀胱	P-I	経口	自社	
ASP7398		夜間頻尿	P-I	経口	自社	
ASP8302		低活動膀胱	P-I	経口	自社	
ASP7713		低活動膀胱	P-I	経口	自社	

前回の決算発表時(2017年4月)からの変更点:  
EB178(ソリフェナシン／ミラベグロン):過活動膀胱における尿意切迫感、頻尿及び切迫性尿失禁に対する併用療法として、2017年6月に米国にて製造販売承認申請を行った。

免疫科学及び神経科学領域 (1/2)

\* 共同研究により創出された化合物を含む。

開発コード 一般名	薬効/作用機序	対象疾患	開発段階/地域	剤形	自社*/導入	備考
FK949E クエチアピン	セロトニン・ドパミン拮抗剤	双極性障害におけるうつ症状の改善(徐放錠)	承認(2017年7月)/日本	錠口	AstraZeneca	
FK506 タクロリムス	免疫抑制剤	臓器移植における拒絶反応の抑制(小児用顆粒製剤)	申請(2017年7月)/米国	錠口	自社	剤形追加
ASP015K ペフィシチニブ	JAK阻害剤	関節リウマチ	P-Ⅲ/日本、アジア P-Ⅱ/米国、欧州	錠口	自社	
ASKP1240 bleselumab	抗CD40モノクローナル抗体	生体腎移植患者における再発性巣状系球体硬化症	P-Ⅱ/米国	注射	協和発酵キリン	
ASP1707	GnRH受容体アンタゴニスト	関節リウマチ	P-Ⅱ/日本	錠口	自社	
ASP7962	TrkA阻害剤	変形性関節症	P-Ⅱ/欧州	錠口	自社	
ASP8062	GABA <sub>B</sub> 受容体陽性アロステリック 修飾物質	線維筋痛症	P-Ⅱ/米国	錠口	自社	
ASP0819	カルシウム活性化カリウムチャネル 開口薬	線維筋痛症	P-Ⅱ/米国	錠口	自社	
ASP4070 (JRC2-LAMP-vax)	スギ花粉DNAワクチン	スギ花粉症	P-Ⅱ/日本	注射	Immunomic Therapeutics	
ASP5094	抗alpha-9インテグリン モノクローナル抗体	関節リウマチ	P-Ⅱ/日本	注射	自社	
ASP4345		統合失調症に伴う認知機能障害	P-Ⅰ	錠口	自社	
ASP0892		ピーナッツアレルギー	P-Ⅰ	注射	Immunomic Therapeutics	
ASP1807 (CC8464)		神経障害性疼痛	P-Ⅰ	錠口	Chromocell	
ASP6981		統合失調症に伴う認知機能障害	P-Ⅰ	錠口	自社	

## 免疫科学及び神経科学領域 (2/2)

### 前回の決算発表時(2017年4月)からの変更点:

- FK949E(クエチアピン): 双極性障害におけるうつ症状の改善(徐放錠)で、2017年7月に日本で承認を取得した。
- FK506 (タクロリムス): 臓器移植における拒絶反応の抑制(小児用顆粒製剤)で、2017年7月に米国で製造販売承認申請を行った。
- ASP3662: 戦路上的優先度等の総合的な判断により、Phase II 段階にあったアルツハイマー型認知症に伴う焦燥性興奮を対象疾患とした開発を中止した。
- ASP5094: 関節リウマチを対象疾患とした開発がPhase I からPhase II に進展した。
- ASP6981: 統合失調症に伴う認知機能障害を対象疾患とした開発を開始した。
- ASP7266: Phase I 段階にあった重症喘息を対象疾患とした開発を中止した。

その他

\* 共同研究により創出された化合物を含む。

開発コード 一般名	薬効／作用機序	対象疾患	開発段階／地域	剤形	自社*／導入	備考
AMG 785 ロモズマブ	抗スクレロスチンモノクローナル抗体	骨折の危険性の高い骨粗鬆症	申請(2016年12月)／日本	注射	Amgen [アステラス・アム ジェンと共同開発]	
イブラグリフロジン／ シタグリブチン	イブラグリフロジンとシタグリブチンの 配合剤	2型糖尿病	申請(2017年5月)／日本	経口	自社 [MSD、寿製薬と 共同開発]	
ASP1941 イブラグリフロジン	SGLT2阻害剤	1型糖尿病	P-III／日本	経口	自社 [寿製薬と共同開 発]	効能追加
フィダキソマイシン	大環状抗菌剤	感染性腸炎(適応菌種:クロストリジウム・デフィシル) 小児におけるクロストリジウム・デフィシル感染症	P-III／日本	経口	Merck	
ASP0456 リナクロチド	グアニル酸シクラーゼC受容体作動薬	慢性便秘症	P-III／欧州	経口	Ironwood	効能追加 (小児)
ASP0113 (VCL-CB01)	サイトメガロウイルスDNAワクチン	造血細胞移植時のサイトメガロウイルス感染抑制	P-III／米国、欧州、日本	注射	Vical	
ESN364 fezolinetant	NK3受容体拮抗薬	更年期に伴う血管運動神経症状	P-II／米国	経口	自社 (Ogeda)	
ASP1707	GnRH受容体アンタゴニスト	子宮内膜症	P-II／欧州、日本	経口	自社	
CK-2127107	速筋トロポニン活性化剤	脊髄性筋萎縮症 慢性閉塞性肺疾患 筋萎縮性側索硬化症	P-II／米国 P-II／米国 P-II／米国	経口	Cytokinetics	
ASP7317 RPE細胞プロگرام	細胞治療(網膜色素上皮細胞)	萎縮型加齢黄斑変性、Stargardt病	P-II／米国	注射	自社 (Astellas Institute for Regenerative Medicine)	
MA-0211		デュシェンヌ型筋ジストロフィー	P-I	経口	Mitobridgeとの オプショナル契約	

前回の決算発表時(2017年4月)からの変更点:

イブラグリフロジン／シタグリブチン: 2型糖尿病に対するイブラグリフロジンとシタグリブチンの配合剤として、2017年5月に日本で製造承認申請を行った。

ESN364 (fezolinetant): 買収完了に伴い、パイプラインリストに追加した。

MA-0211: デュシェンヌ型筋ジストロフィーを対象疾患とした開発を開始した。